



士別翔雲高校だより

学校通信 第168号 令和6年 4月25日(木) 発行 校訓「一步前へ」

VUCA 時代を生きるために

校長 佐藤 敬二

保護者、地域の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。この度の異動で着任しました校長の佐藤敬二と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和6年度は89名の新生を迎え全校生徒301名となりました。今年度も教職員一同、生徒の進路希望の実現と、授業や学校行事、部活動のほか、地域とのつながりを大切にしながら教育活動を進めて参ります。

さて、現代社会は「先行きが不透明で予測が困難」な時代という言葉でよく表されますが、これを示す言葉に「VUCA（ブーカ）」という言葉があります。近年、教育のキーワードの1つとして使われている言葉です。もともとは「不透明な戦略」を表す軍事用語として使用されていた言葉ですが、昨今では、変化が激しい時代や不確実な要素が多い状況下を示す言葉として用いられます。V・U・C・Aそれぞれが意味するものは、次のとおりです。

- Volatility（変動性） 変化のスピードが想像以上に速く、未来の予測が難しいこと
(例：スマホやSNSの普及など)
- Uncertainty（不確実性）「何が起きるか？」の予測が難しいこと
(例：地球規模での気候変動、終身雇用・年功序列の見直しなど)
- Complexity（複雑性） 様々な出来事やモノが複雑に絡み合っていること
(例：グローバル化に伴う政治的・経済的变化など)
- Ambiguity（曖昧性） 出来事の因果関係や解決策がはっきりせず、説明できないこと
(例：景気の急激な変動、社会的な価値観の変化など)

VUCA 時代を担う子どもたちには、変化に対応し持続可能な社会を実現できる能力が求められます。しかし、これらの能力は従来の受け身の教育だけで身に付けることはできません。VUCA 時代に求められる能力として様々な研究機関が報告していますが、そこから3点挙げます。

・あらゆる状況への対応力

職業や人生設計も不確実で予測できない社会では、「どこでも通用する」人間的能力が欠かせません。変動する社会では、自分の立場が流動化したときに果敢に決断し、新しい道を切り開いていける能力が求められます。

・柔軟で自律的な思考力

テクノロジーは日々進歩し、医師や弁護士のような職業ですらAIに置き換えられることも考えられます。AIとの共存生活に対応できるよう、疑問に対して自ら考える力を身に付けることが大切です。

・新しい知識の吸収力

新しいテクノロジーの誕生や発展は、VUCA状況を作り出す要因の1つです。企業が存続するうえで、技術革新が危機を救うチャンスになります。革新をもたらすには新しい知識を幅広く吸収する力が必要です。ICT教育を足掛かりに、テクノロジーを理解し活用していく力が求められます。

このようなVUCA時代に求められる能力は、大学入試で重視されるポイントや出題傾向の変化へとつながっています。2025年以降の共通テストには「情報」科目が追加されます。入試では全科目を通して、資料、グラフ、地図、写真、文章などの読み取る資料の量が増え、知識や解法の暗記のみで解答できる問題は減っています。そのため制限時間内で問題から情報を読み取り、自分なりに考察して答えられる力が必要です。また、入試では「思考力・判断力・表現力」を評価する出題方法への転換が進んでいます。暗記のみで答えられる問題は少なくなり、知識を実践的に活用して解答できる力が求められています。

VUCA時代をたくましく生きる生徒を育成するため、本校では3つの方針（スクール・ポリシー）を挙げています。学校ウェブページで是非ご確認ください。



ウエイトリフティング部 全国大会で飛躍！

第39回全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会が3月23日(土)～26日(火)の期間に石川県金沢市で行われ、同大会の男子67kg級に石川 英虎さん(2B)、73kg級に中 遥陽さん(2B)、102kg級に榎本 凌也さん(3A)が出場しました。大会結果は以下の通りです。

～大会結果～ ※S=スナッチ、J=クリーン&ジャーク

【67kg級】

石川 英虎	S:95	J:120	計:215	7位
-------	------	-------	-------	----

【73kg級】

中 遥陽	S:100	J:125	計:225	12位
------	-------	-------	-------	-----

【102kg級】

榎本 凌也	S:110	J:148	計:258	2位
-------	-------	-------	-------	----



榎本 凌也さん(3A)は、「今の結果に満足せずに次の大会では成功率をあげて、よりよい結果を残したい」と先を見据えたコメントをしてくれました。

ウエイトリフティング部部長の中川 賢信さん(3A)は「部員全員で全国大会へ出場し、日本一を目指します」と、今年度の抱負を話してくれました。

Welcome to Shibetsu Shoun!!

4月8日(月)本校体育館で令和6年度第18回入学式が行われました。入学生は普通科71名、総合ビジネス科18名、計89名です。

9日(火)には、対面式・生徒会オリエンテーションが行われました。佐々木 花楓生徒会長(3A)からの歓迎の言葉に始まり、学校行事・校歌などを紹介しました。対面式後は、部局活動紹介も行われました。新入生へ自分たちの所属する部局の魅力を伝えるために、2・3年生はパフォーマンスを披露したり、手の込んだVTRを作成して放映したりして、ともに活動をしよう！と新入生へ呼びかけました。



たくさんの新入生が部局活動に参加し始めました！

進路実現への歩み

【新2年生0学期学習会】

現段階で大学受験を想定している生徒を対象とし、新2年生0学期学習会が3月 25 日（月）～26 日（火）、3月 28 日（木）の3日間日程で実施されました。学習に対する意識と環境を整え、進級前に自分の目標達成のために主体的に学びに向かう力を培うとともに、長いスパンで学習をするための良いスタートをきることができました。

【新3年生0学期講習】

新3年生0学期講習も、同様に3月 25 日（月）～26 日（火）、28 日（木）の3日間日程で数学・英語・国語・室工大講習が実施されました。

受験前に力を入れるべき教科・苦手を感じる教科などを考えて申込み、実践に近い問題を解くことによって、受験が迫ってきていること・質の高い学習の大切さなどを再認識しました。また、自分の進路実現のために主体的に学びに向かう意識付けをする良い機会になりました。

新しく赴任された教職員の紹介

氏名		教科	部活動	前任校
佐藤 敬二	校 長	(理科)		興部高校
淡中 睦	教 諭	地理歴史	弓道部	倶知安農業高校
太田 浩二	事務主任			下川商業高校

5 / 6 月 の 行 事 予 定

5/2 木	身だしなみ指導、生徒総会
7 火	公開授業週間（～5/10）、図書館バス
8 水	高体連支部壮行会
9 木	放送、道北支部予選当番校業務
10 金	参観日
11 土	3年全統記述模試①、3年公務員模試③
15 水	授業料・諸納金口座振替日、翔雲祭係分担
17 金	高体連支部集約大会（～19日） 陸上・テニス、当番校業務（～19日）
20 月	振替休業日
21 火	表彰伝達式
23 木	3年校内企業説明会
24 金	PTA役員会
25 土	英検①一次
28 火	考查1週間前

6/1 土	土曜授業
3 月	QUテスト
4 火	前期中間考查（～7日）
8 土	3年大学入学共通テスト模試・6月
9 日	3年大学・看護学校共通模試②、 3年公務員模試④、3年小論文模試②
10 月	身だしなみ指導、いじめアンケート
11 火	図書館バス
12 水	避難訓練①
13 木	翔雲祭結団式
16 日	全商ビジネス計算実務検定試験①、 漢字検定①
17 月	授業料・諸納金口座振替日
22 土	3年総合学力記述模試・7月、 1・2年総合学力テスト・7月
23 日	全商簿記実務検定試験①
24 月	1年科目選択オリエンテーション
26 水	2年コース・科目選択オリエンテーション
30 日	全商ビジネス文書実務検定試験①

1 年生 宿泊研修

4月 12 日（金）から1泊2日の日程で、北海道立青少年体験活動支援施設 ネイパル深川にて行われた宿泊研修に1年生が参加しました。

～1日目～

1日目は、出発する前に本校体育館にて「ピア・サポート」を行い、望ましい人間関係を築き上げるために、様々なアクティビティをしました。声を出さずに表情やジェスチャーで自身の誕生日を伝えて、誕生日順に並ぶ「バースデーチェーン」から始まり、クラス関係なくランダムなペアやグループで「自己紹介+他己紹介」をして、親睦を深めました。

バスにて深川へ移動し、ネイパル深川の職員の方から施設利用のオリエンテーションや、脳を使ったアクティビティ、コミュニケーショントレーニングを行っていただき、緊張感をほぐすとともに、他クラス・性別問わず、多くの人と積極的に話す良い機会となりました。

午後は本校教頭から、日常生活を安心・安全に過ごすための「いじめ」についての講話、また学年団による「生徒指導・学習・進路」の3観点による講話を行い、生徒たちはメモをとりながら真剣に話を聞いていました。

～2日目～

2日目は朝のつどいにて、学年主任による身体を動かす運動から始まりました。その後は、体育館にて「①玉入れ、②大縄跳び、③ドッジボール」の3競技でクラス対抗レクレーションを行いました。クラスごとに「どの方法でやると自分たちが有利に戦えるのか」を考えて話し合い、競技に挑みました。レクレーションを終えた後は、退所式・解団式を行い、参加した全員が大きな怪我や体調不良もなく、土別へ帰着しました。

今年度の宿泊研修では「10 分前行動、5分前行動完了」を心がけて生徒たちは行動していました。また、入学後初の宿泊を伴うクラスメイトとの生活に、不安・緊張を感じる生徒も多数みられましたが、お互いに寄り添い支え合い、よりよい人間関係を築くことができました。今回の2日間を今後の学校生活に活かしていきます。



5月10日（金）1校時～6校時（8:55～15:20）参観日・公開授業を行います。
保護者の方をはじめ、地域の方々もぜひご来校ください。
また、人数把握のため右QRコードからアンケートのご協力をお願いします。

